

自己点検・自己評価 ―2023年度―

自己点検・自己評価の取り組み

本校では教育理念を基に看護師養成所として看護教育の質の維持、向上を図ることを目的に、自己点検・自己評価を組織全体で行っています。結果は、学校運営にフィードバックするよう努力しています。今回、2023年度の結果を報告します。

【評価期間】

2024年5月18日(金)～5月24日(金)

【対象者】

職員(常勤、非常勤) 14名

回答率:85.7%(回収率:100%)

【評価方法】

評価は5段階評価を点数化し集計、平均値を算出した。

A: そう思う(5pt)

B: ややそう思う(4pt)

C: あまりそう思わない(3pt)

D: そう思わない(2pt)

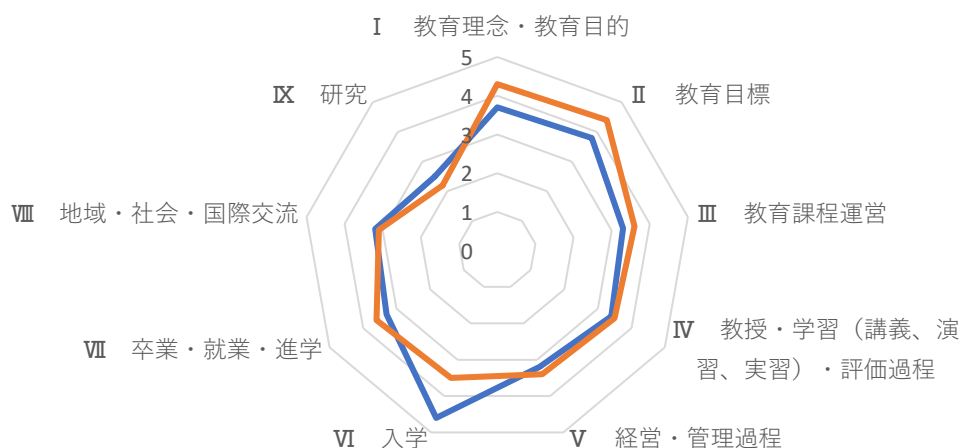
E: わからない(1pt)

評価結果

領域	小項目数	2023年度	2022年度
I 教育理念・教育目的	6	3.7	4.3
II 教育目標	6	3.8	4.4
III 教育課程運営	29	3.3	3.6
IV 教授・学習(講義、演習、実習)・評価過程	17	3.4	3.5
V 経営・管理過程	19	3.2	3.4
VI 入学	4	4.6	3.5
VII 卒業・就業・進学	4	3.3	3.6
VIII 地域・社会・国際交流	6	3.2	3.1
IX 研究	3	2.5	2.2

自己点検・自己評価

— 2023年度 — 2022年度



【結果】

- I 教育理念・教育目的は、前年度より0.6pt低下した。
- II 教育目標は、昨年度より0.6pt低下した。
- III 教育課程経営は、昨年度より0.3pt低下した。
- IV 教授・学習（講義、演習、実習）・評価過程は、昨年度より0.1pt低下した。
- V 経営・管理過程は、昨年度より0.1pt低下した。
- VI 入学は、昨年度より1.1pt上昇した。
- VII 卒業・就業・進学は、昨年度より0.3pt低下した。
- VIII 地域・社会・国際交流は、昨年度より0.1pt上昇した。
- IX 研究は、昨年度より0.3pt上昇した。

【総括】

現状と今後の取り組み

各項目は、昨年度と比較し微増・微減となった。

教育活動、目標（長中短期）、到達度などの指針が明示されていないことで教員個々の考えと施設の方向性が定まらない状況であった。また、教育体制では役割権限や意思決定など、そのシステムが一部機能しないことも評価の微減につながった。しかし、教員は将来を期待される看護学生に対して、真剣にかつ熱い思いを持って日々奮闘している。また、施設の質を向上するうえで、職員の能力向上は必須である。職員個々の努力のみならず、施設の支援も必要である。職員が時間を確保するためには、業務改善や過去の踏襲を見直す思考の変換が必要で、研修や研究の積極的な参加を進めていく。

今後、目標の明確化、施設の方向性に関して職員全員との対話と理解ならびに周知と確認を進め、機能不全とされる役割権限と意思決定システムの再構築を実施する。